

第1回札幌市市民活動サポートセンター事業運営協議会概要

日時：平成18年9月4日（月）19：00～

場所：札幌エルプラザ 2階 会議室1・2

1 開会

2 事業運営協議会の内容説明

平成18年8月27日をもってこれまでの委員の任期満了となり、平成18年8月28日から平成20年8月27日までの2年間の任期で新しい委員となり、事業運営協議会要綱に基づき、設置目的、協議事項等を確認した。

市民活動サポートセンターの事業について、専門的な分野から幅広くご意見をいただき、事業運営に反映していくことを確認した。

3 議事

(1) 札幌エルプラザ公共4施設指定管理者としての管理運営に関する説明

指定管理者として、提案に基づいて札幌エルプラザ公共4施設管理運営及び市民活動サポートセンター事業運営・運営状況について説明を行う。

説明の中では、複合施設としての運営、活動支援施設としての機能について、平成18年度からの指定管理期間の事業概要、平成18年度事業計画について説明を行う。

(2) 運営状況についての説明

4月からの市民活動サポートセンターの運営状況、事業の実施状況について報告を行う。

(3) 事業の方向性について

指定管理者として提案した事業運営や事業計画を基に、各委員の活動や思いを含め現段階での市民活動サポートセンターでの事業運営について意見が出された。

<意見の要旨>

- ・ 運営実績については今後これまでとの比較資料があるとさらにわかりやすいのではないかと考える。
- ・ 市民活動サポートセンターでの情報が、例えば活動主体の区単位ではなかなか得られない状況もあり、「情報提供」というのは大きな問題となっていると考える。
- ・ 各団体や個人、各まちづくりセンター等のネットワーク、情報の明確化等のパイプ役を果たす期待がある。
- ・ 利用する状況、年代や職種、利用時間帯等分析データにより、生活圏、公共の集まりの場など役割とどう位置付けていくかの分析が必要であろう。
- ・ 市民活動サポートセンターと各地域での事業のつながりにより、より幅広い活

動につながっていくのではないか。

- ・ 地域との連携の問題は重要である。
- ・ 情報提供の充実、各活動に関する他の団体情報や、これから何かをやってみたいというときの情報の収集が出来ることにより、より便利なものとなる。
- ・ 必要に応じて情報を得たり、ニーズにあった学習が出来たり、活動拠点としての役割を少しずつでも蓄積していくことが必要。
- ・ 情報提供の問題では、ITが中心的に考えられがちであるが、活動している人や団体の状況等の分析により、情報提供方法についても考えていかなくてはならないのではないか。
- ・ さまざまなニーズを持った人に、ニーズにあったものを提供できるか、ちょっと方向性を見出すことにより、何かが出来るかもしれない、そんな対応が出来ると非常に良いのではないか。

このような、意見や考えが出された。

3 閉会